

資料	特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺事件 認知状況	刑事部組織犯罪対策課 特殊詐欺検挙対策係
----	---------------------------	-------------------------

1 認知状況

【全 国】令和8年8月末現在 ・ 【宮崎県】令和8年9月末現在

特殊詐欺とは、被害者に（１）電話やSNS等を通じて、対面することなく信頼させ又は関係を深めて信用させ、（２）指定した預貯金口座への振込その他の方法により、（３）現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝及び隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗を含む。）の総称。
令和8年4月1日の類型整理により、ニセ警察詐欺をオレオレ詐欺等から独立した手口と位置付けたほか、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺を特殊詐欺の手口とそれぞれ位置付け、全13手口と整理された。

＜全国＞ 金額は億円		特殊 詐欺 全体	増減		特 殊 詐 欺 手 口 13 類 型												
			件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際 あつせん	その他	キャッシュカード 詐欺盗	SNS型 投資	SNS型 ロマンス
令和5年	認知件数	19,038	+1463	+8.4	－	3,955	2,754	5,198	4,185	188	411	19	9	102	2,217	－	－
	被害金額	452.6	+70.4	+22.0	－	133.5	38.5	140.4	51.3	2.4	51.9	0.5	0.2	4.1	29.8	－	－
令和6年	認知件数	21,043	+2005	+10.5	－	6,752	2,276	5,716	4,070	338	78	21	86	321	1,385	6,413	3,824
	被害金額	718.8	+266.2	+58.8	－	458.4	25.5	133.8	63.7	2.4	6.3	1.1	3.2	6.0	18.2	871.1	400.9
令和7年	認知件数	27,832	+6789	+32.3	－	14,489	1,707	5,706	3,179	379	206	33	482	408	1,243	9,523	5,645
	被害金額	1,423.1	+704.3	+98.0	－	1,138.1	21.7	131.7	61.9	3.7	22.1	1.4	19.7	8.4	14.4	1,288.0	546.4
令和8年 【8月末】	認知件数	29,687	+3732	+14.4	6,346	2,739	667	4,211	2,058	268	286	32	452	1,006	1,019	7,097	3,506
	被害金額	2,360.7	+588.4	+33.2	728.6	104.2	6.0	97.5	46.5	1.6	28.4	0.9	14.7	58.3	10.8	937.4	325.8
昨年同時期	認知件数	25,955	－	－	6,620	2,265	1,175	3,707	2,287	263	108	20	261	238	768	4,750	3,493
	被害金額	1,772.1	－	－	573.5	87.3	12.9	84.0	43.4	2.6	13.0	1.1	8.0	4.5	9.1	609.4	323.3

※警察庁刑事局組織犯罪対策第二課集計。 ※令和8年4月1日から、特殊詐欺の手口は13類型に分類変更。 ※令和7年までの特殊詐欺の認知件数及び被害金額はSNS型投資・ロマンス詐欺を除く数値。
※令和6年1月1日から、SNS型投資・ロマンス詐欺を計上。 ※令和7年の数値は確定値。被害金額は、百万円以下四捨五入。令和8年から全国統計は四半期ごとに発表。令和8年8月末の数値は暫定値。

＜宮崎県＞ 金額は万円		特殊 詐欺 全体	増減		特 殊 詐 欺 手 口 13 類 型												
		件/円	比率%	ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際 あつせん	その他	キャッシュカード 詐欺盗	SNS型 投資	SNS型 ロマンス	
令和5年	認知件数	52	±0	0	—	3	2	34	7	0	2	1	0	1	2	—	—
	被害金額	35,808	+22,180	+162.7	—	1,181	5,156	14,889	604	0	13,425	71	0	175	307	—	—
令和6年	認知件数	155	+103	198.1	—	21	0	48	1	1	1	1	0	0	60	21	
	被害金額	110,158	+74,350	207.6	—	14,077	0	4,630	50	450	234	539	255	0	0	67040	22884
令和7年	認知件数	173	+18	11.6	—	39	1	43	0	6	3	0	4	2	0	40	35
	被害金額	141,344	+31,186	28.3	—	33,727	1,081	4,996	0	722	949	0	821	162	0	58078	40807
令和8年 【9月末】	認知件数	127	−6	−4.5	29	0	1	22	3	0	0	0	2	2	0	43	25
	被害金額	108,129	−4,778	−4.2	29,153	0	500	2,224	198	0	0	0	184	50	0	56,054	19,766
昨年同時期	認知件数	133	—	—	—	25	1	39	0	4	2	0	2	2	0	30	28
	被害金額	112,907	—	—	—	20,524	1,081	4,266	0	661	499	0	506	162	0	48,601	36,607

※被害金額は、千円以下四捨五入。令和8年から、これまで「オレオレ詐欺」に含まれていた「ニセ警察詐欺」が独立。
※令和8年9月末の数値は暫定値。四捨五入の関係上、合計が合わない場合があります。

2 被害者の年齢構成・性別割合

		特殊詐欺全体		ニセ警察	オレオレ	預貯金	架空料金請求	還付金	融資保証金	金融商品	ギャンブル	交際あつせん	その他	キャッシュカード詐欺盗	SNS型投資詐欺	SNS型ロマンス詐欺
29歳以下	男性	11	12%	3			3					1	1		2	1
	女性	4					3									1
30歳代	男性	6	13%				1								2	3
	女性	10		3			4								1	2
40歳代	男性	8	13%	1			1								2	4
	女性	9					4								4	1
50歳代	男性	12	18%	1								1			4	6
	女性	11		3			2								5	1
60～64歳	男性	4	9%										1		3	
	女性	8		1			1	1							4	1
65～69歳	男性	8	8%	1											4	3
	女性	2													1	1
70歳代	男性	12	17%	3			2								6	1
	女性	10		6			1	1							2	
80歳以上	男性	8	9%	4				1							3	
	女性	4		3		1										
合 計	男性	69	-	13	0	0	7	1	0	0	0	2	2	0	26	18
	女性	58		16	0	1	15	2	0	0	0	0	0	0	17	7

※ 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

3 交付形態別

	合計	振込型	現金 送付型	現金 手交型	カード 手交型	電子マ ネー型	決済型	カード 窃取型	暗号資産 送付型
件数	127	77	0	18	1	1	8	0	22
件数割合	-	60.6%	0.0%	14.2%	0.8%	0.8%	6.3%	0.0%	17.3%
被害額 (万円)	108,127	69,724	0	24,410	500	13	517	0	12,963
被害額割合	-	64.5%	0.0%	22.6%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	12.0%

※ 率は小数点第2位以下四捨五入。金額は、千円以下四捨五入。
「決済型」はPayPayなどのコード決済やクレジット決済が該当
※ 四捨五入の関係上、合計が合わない場合があります。

4 ニセ警察詐欺を独立した手口として位置付けた理由

ニセ警察詐欺は、手口分類上は大半が「オレオレ詐欺」に分類されている一方、従来の「オレオレ詐欺」（いわゆる息子騙り等）の場合、被害者はほぼ高齢者に限られていたが、ニセ警察詐欺被害は高齢者以外にも被害が及んでいることや、また、ニセ警察詐欺の場合は、架空だけではなく、SNSのテレビ電話やメッセージ機能が使用されているなど、従来のオレオレ詐欺には見られない特徴が認められ、被害も顕著であることから、今後、独立した手口として位置付け把握することで、よりの確な対策につなげていくこととしたものです。